

### 今月の便り

#### キクイモ

何年か前から健康食品として話題になり、最近では直売所にも並ぶキクイモという植物があります。芋というだけに、食べるのはじゃがいものような土の中の塊茎。キクイモに含まれるイヌリンという水溶性の食物繊維が腸内環境を整えると言われています。キクイモは幕末に人が持ち込み、やがて豚の飼料として栽培されるようになり野生化したもので、この空知でも田んぼや畑のわきの土手や荒地などによく見かけます。先月紹介したオオハンゴンソウと同じ北アメリカ原産のブルーリストに名を連ねるどんどん増える植物です。高さは2mを超える大型の植物でひまわりを小さくしたような黄色でありがちな花ですが、開花期が霜が降りる頃の晩秋なので見分ける参考にしてください。全体に有毛で葉や茎は触るとザラザラした感じです。気になったら雪が降る前に掘ってみて。芋がついていたらキクイモです。

(きのした)

#### メダカソウ

メダカソウとかカンザシスゲの名で出回っているイネ科のボウテロウア・グラキリスは北米南西部原産の耐寒性多年草で、草丈30cm～50cm前後、もともとは牧草や土壌の侵食予防のために使われていたものが観賞用として出回っているもので、花穂が横を向いて付き、メダカのような形をしていることからこの名があります。この植物は乾いた草原や河原に多く自生しているため、乾燥には強く水はけ、日当たり、風通しの良い場所で育てられます。大型が多いグラス類の中であまり大きくなりすぎず庭で扱いやすいです。また鉢植えや寄せ植えでも楽しめます。穂先の形を「メダカ」や「カンザシ」に例えて、和名では「メダカスゲ」、「カンザシスゲ」などの呼び名もありますがスゲの仲間ではありません。自生地のアメ리카では穂先を「蚊」に例えて、「mosquito grass (モスキュート・グラス)」、また植生や牧草を指す場合には「blue grama grass (ブルーグラマグラス)」と呼ばれています。もともとイネ科の植物

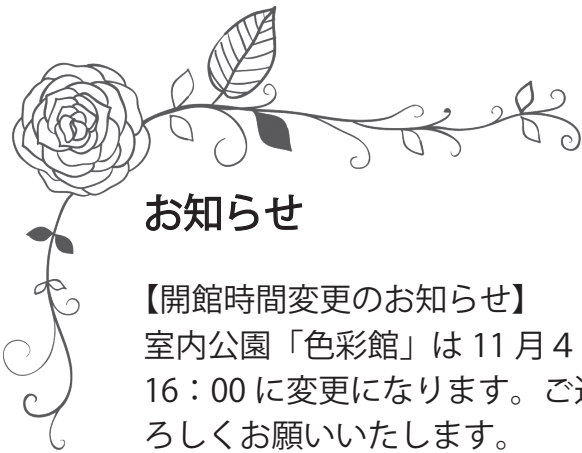


*Bouteloua gracilis*

なので観賞用としては強健で育てやすいのですが、極端な水切れや過湿はよくありません。花穂がないときはボウボウとしたガラスになってしまいますが、かわいい花穂が出てくるのをじっと待ちましょう。夏に地際からバッサリと切り戻せば、秋に新しい穂も楽しみ、冬にも同様に刈り込んで、春の新芽を出させれば草姿も更新できます。(いとう)

## よく見られる病害虫について

幹や枝の切り口は、植物にとって傷口なので、むき出しのままにしておくと病原菌が入りやすくなり、剪定作業が原因で枯れ込むことがあります。予防するには、殺菌効果のあるペースト状の薬剤を使うと良いでしょう。切り口に塗ると速やかに耐性のある安定した殺菌保護皮膜ができます。そして雨水や病原菌の侵入を防ぎ、切り口の治りを早め、傷口からの枯れ込みや木質部の亀裂を予防します。使用の際、切り口から樹液が出たら、拭き取ってから塗ります。また散布後、半日程度降雨に当てないようにします。この薬剤はバラをはじめ、すべての果樹や樹木に使うことができます。ぶどうの晩腐れ病やりんごの腐乱病、梨や栗の胴枯病、柑橘類の幹腐れ病、桜のテング巢病などカビ（糸状菌）が原因で発生する病気も予防できます。バラの幹に付くバラシロカイガラムシは直径 2~3 mmで白い貝殻状のものが付いて見えます。発生時期は1年中で幼虫は6~7月8~10月に発生しやすく、ハマナスやバラなど植物の汁を吸い弱らせてしまいます。予防対策は歯ブラシなどでカイガラムシをこすり落とします。被害が大きい枝は剪定し、虫ごと処分しましょう。バラのカイガラムシ類に薬剤を使う場合カイガラムシ専用のエアゾールを樹全体に散布することで、対策可能となります。(たかはし)



### お知らせ

#### 【開館時間変更のお知らせ】

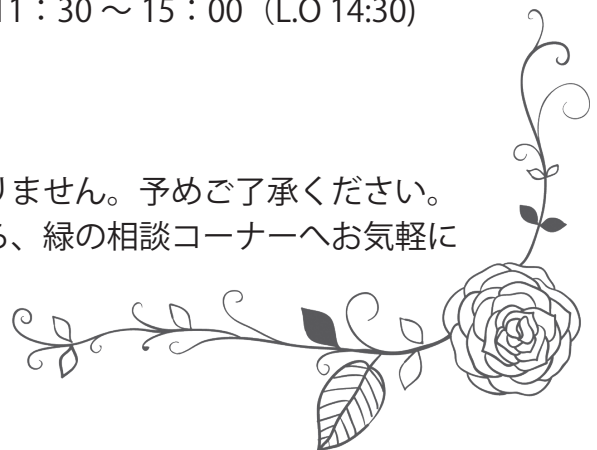
室内公園「色彩館」は11月4日から3月31日まで開館時間が9:00~16:00に変更になります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

#### 【PIZZERIA Lucci】

11月も通常営業いたします。営業時間 11:30~15:00 (L.O 14:30)  
定休日 第1・3火曜日 毎週水曜日

#### 【室内公園「色彩館」からのお願い】

当館では植物の引き取りを一切行っておりません。予めご了承ください。育て方等でわからないことがありましたら、緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。



# ひとつき ひとバラ



文： 小林 薫  
(いわみざわ公園バラ園)

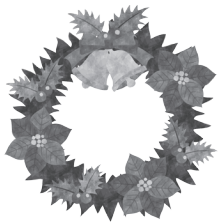
## 第百三十一回

### 番外編 スコッツローズ②

スコッツローズをご紹介する番外編の第二弾です。引き続きイギリスのスコッツローズ研究者ピーター・ボイド氏の論文を参考にご紹介します。私が「スコッツローズ」と呼ばれる一群を注意して見始めた際に、まずぶつかったのは名前の問題でした。ガーデンの樹名板や、本に出てくる名前たち— *R. spinosissima*、*R. pimpinellifolia*、*Hybrid spinosissima*—それぞれの違いが分からなかったのです。そして今回、命名と分類がかなり混乱を極めている、ということが分かりました。ボイド氏によると、次の通りです。まずスコッツローズは *R. spinosissima* の一種であること（詳細は先月号を参照ください）。*R. pimpinellifolia* は古い学名で、*R. spinosissima* と同義語ですが、リンネが先に使用していた *R. spinosissima* が優先されること。また「ピンピネリフォリア」という用語はアジアに分布する *R. spinosissima* アルタイカ変種の交配種や、*Pimpinellifoliae* 節の他種 (*R. foetida* など) も含んで使用されること。そして *Hybrid spinosissima* はアメリカで使用されている用語であり、「(Hybrid：交配種という名であるのに) すべてが交配種ではない上に、多くの品種が *Spinosissima* の遺伝子を殆ど含んでいない」と氏は述べています。日本で使用されている「*Hybrid spinosissima*」の名称が、アメリカのそれと同義であるかも不明です。以上を考えると、現在日本で見られる「スコッツローズ」とされる品種たちがそれぞれどんな分類となるか、益々謎が深まってきました。ボイド氏は分類研究を続けており、図鑑のような書籍を執筆中らしいのですが、諸事情でかなり遅れている模様です。出版が待ち遠しいです！！そんなにややこしいスコッツローズですが、昔はとても人気がありました。1840年には、スコッツローズの栽培品種は当時の他のすべての園芸バラ栽培品種を合わせた数よりも多かったと考えられ（同時期の別の記録では500種以上と推定）、1850年の記録では、マルメゾン宮殿の庭にも150種のスコッツローズが植えられていたといえます。1830年代に四季咲き、返り咲きのバラが登場した後、一季咲きのスコッツローズの人気は急速に衰えていきますが、サッカーによる増殖が容易なことから、一般市民に流通していきました。特にスコットランドでは「スコットランドらしさ」という象徴として扱われるようになり、「故郷の花」を携えた移民とともに、世界中に広まっていきました。スコットランド系カナダ人 L・M・モンゴメリの著作「赤毛のアン」には、アンが小父さんの母が昔スコットランドから持ってきた白いスコッツローズを、マシュー小父さんのお墓に植える場面が出てきます。当時の移民、その子孫たちが移住先の庭園や墓地に故郷を懐かしんで植えたスコッツローズたちは、現在は再開発や不注意な除草剤使用などの脅威に晒されているようです。一方北欧諸国では、その耐寒性から非常に人気が高く、他国に比べはるかに多くの品種が保管されているそうです。また耐乾性、耐病性にも優れるため、気候が不安定な今の時代に適しているのではないかと期待もされています。なによりファンとしては、古い品種が保存されると同時に、新品種の開発、そして願わくは北海道で流通されるよう願っています。

ピーター・ボイド氏のHP <http://www.peterboyd.com/index.htm>

## ワークショップ開催



バラ園のバラの寒を使ったクリスマスリースづくり

11月29日(土) 13:00～15:00

場所：いわみざわ公園バラ園室内公園色彩館

材料費：3,000円 定員：20名

講師：kangaroo factory 大和田 由紀子 さん

## 今月の市民園芸講座のご案内



●11月9日(日) 13:00～15:00 多肉植物の寄せ植えをしよう

材料費：2,200円 定員：20名 講師：椿 豊 さん

●11月15日(土) 13:00～15:00

ローズヒップでクリスマスリースを作ろう

材料費：1,500円 定員：10名 講師：バラ園スタッフ

※お申し込みは講座開催月の1日9:00～電話で受付しております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111 ホームページ：<https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。